

太平山山行報告（2023年2月5日（日））

参加者： 伊藤（L）、天野、池田、石井、浮津、神田、中島、三浦（8名）

行程： 9：19 新大平下駅 9：30－10：00 客人神社 10：10－10：50 謙信平 11：20－11：55 太平山 12：35－13：35 晃石山 14：00－14：45 車道－15：40 新大平下駅

太平山は栃木にある低山であるが関東平野の展望が良く、隣の晃石山から見る日光連山と併せて軽いハイキングとして案内したところ8名が参加することになった。

集合場所の東武線新大平下駅はJRの大平下駅と紛らわしく、全員が無事駅に集合したので一安心した。この駅前には14年前に来た時とは変わって、道路は広くなり新しい住宅が立ち並んでいるが店舗がほとんどない。広い道路を歩いて登山口である客人神社に着く。今日は快晴で空気は冷たいが車道歩きで汗をかいたので着物を調節した。

登山口からは長い石の階段が続いていて、杉の生い茂った暗い参道を登って一汗かくと茶店のある見晴台に着いた。ここまで降りてくる人は何人かいたが、登りはほぼ我々だけの静かな道であった。都心や筑波山など関東平野が良く見えるが若干霞んでいる。もう少し先に行くとずっと視界が開けていて、ここが謙信平の中心地である。かの上杉謙信が越後からはるばるやってきて、ここから関東平野を望んだのでこの名前が付いたようだ。遠く富士山も見えるらしいが、今日は霞の中である。車道に沿って茶店が並んでおり、少し登ると10時50分太平神社に到着した。826年に創建されたというこの神社は、山の中には大きな神社であり観光客を含めてにぎわっていた。

神社から奥に入って山頂を目指し11時55分太平山山頂（341m）に着いた。小さな社殿（浅間神社）とベンチがありだれもいない静かな山頂である。昼食後社殿の後ろにある山頂標識で集合写真を撮り先に進む。まずは急勾配を下るがその先は林の中の静かな尾根道となり、ゆるい上り下りはあるが晃石山まではじつに気分の良い雑木の尾根である。

13時35分に晃石山山頂（419m）に到着、狭い山頂には一等三角点と、小さな祠とベンチがある。北側には雪を被った男体山や白根山など日光連山が良く見えている。展望を楽しんだ後、14時00に下山するが、予定より1時間以上遅れてしまったので最短コースを下ることにする。桜峠・清水寺には行かずに大中寺に直接下る道は急斜面でやや荒れており苦労した。14時45分に車道を横切りアスレチック場を過ぎて平地に出た。

農道を歩いて駅を目指すが電車の時間が迫っているため急いでしまい疲れてしまった。何とか15時42分の電車に間に合い栗橋で解散、男性5人は大宮で下車して反省会を開催した。最初の店では値段が高かったのが早々に退散し、サイゼリヤではいやというほど飲んだのにびっくりの安さに感激した。

今回の山行はハイキングにしてはややきつかったが、天気も良く展望も良く楽しい山であったと結論が出て19時半ごろ解散した。

（伊藤）